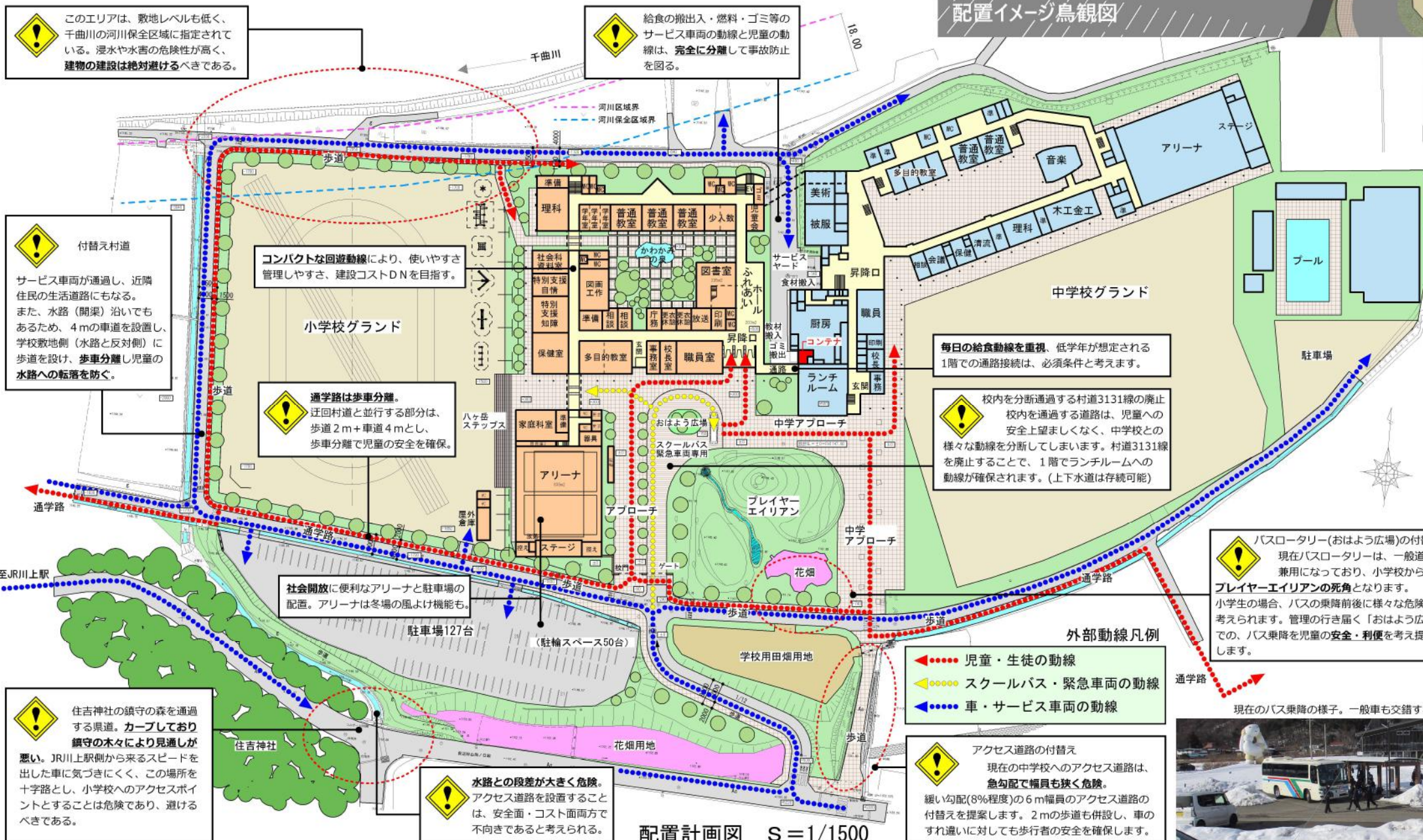


01 全体配置計画概要

現在の中学校の通学路を活かして歩車分離の歩道整備をします。中学校西側の村道3131線を廃止して、西側水路の敷地内に新たな道路を作り小学校敷地外周道路を設置します。現状の県道からの進入路は歩道及び自転車専用路として使用し、図のように新たに広く勾配を緩やかにした車道を設置します。

敷地内南側通学路の北に、中学校と隣接する東側は校舎、西側に校庭を配置します。プレイヤーエイリアンと芝生広場は小学校と中学校の共通シンボルとして残し、現状のスクールバスロータリーは廃止して、プレイヤーエイリアンの西側にスクールバスと緊急車両、修学旅行や校外活動、招待学校用のバスのみ使用するロータリーを設けます。このロータリーの南入り口には門を設けて安全を図ります。スクールバスの乗降する「おはよう広場」は体育館により冬の西風を遮る位置になります。

敷地内南側通学路と県道の間は駐車場と緑地、花壇、学校農園とします。



02 歩車分離を図り、交錯箇所を極力少なくした安全な通学路

通学路は全て歩車分離とし、巾2m～1.5mの歩道を整備します。敷地に接する歩道は全て学校敷地側とし、車道との交錯を避けて児童が安心して利用できるように配慮しました。車道を渡る横断歩道は3カ所のみとします。また、敷地西側には水路があるため、児童の転落を防止するために、歩道は水路と反対側としました。

JR信濃川上駅方面から中学校庭南からの敷地南西角までの通学路の歩道は村としての整備をお願いします。

03 児童の安全なバス乗降

1/3もの児童生徒がスクールバス通学する川上村において、小学校からはプレイヤーエイリアンの死角となり一般車とも交錯する現バスロータリーでの乗降は、小学生の児童にとって多くの危険を孕むと考えます。職員室の前の、歩車分離された一般車進入禁止の「おはよう広場」での乗降が、子供たちの安全・利便に最も資すると考えました。(乗降前後に、バス死角から飛出し、一般車両と接触する事故の危険性を確実に排除しました。)



04 安全を第一に考えた車道・スクールバス路(アクセス道路)計画

長野県道68号線への接続は現状中学校用では直角で勾配もきつく狭いので車両進入禁止にして自転車・歩行者用とします。接続箇所は2カ所考えられますが、ヘルシーパークからのT字路を十字路にする場所はカーブであり住吉神社の杜の木々が視界を遮り、尚且つ深い水路の真上となるので、安全とは言えません。そこで直線で見通しの良い、現状のすぐ西側から接続し、ゆったりとしたカーブで勾配を緩やかにして村道2127・2126線に導くのが、自然に車の速度も落ち安全に優れた計画となります。スクールバスなどは正面の門を開けて「おはよう広場」のロータリーへと進入します。「おはよう広場」はバス・緊急車両専用とし児童の安全を図ります。

食材車、牛乳やパンの配送車とゴミ収集車は左折して校庭の西側から北側を通り、中学校との2階連絡通路の下を通して進入します。この周回道路は中学校北側の集落の方々にも利用していただけます。サービス車両・一般車両と児童の動線を完全に分離します。

05 駐車場・駐輪場・外構など

駐車場は村道2127・2126線の南側に配置、パブリック開放される体育館にアクセスし易く、通学路との交錯も最低限にできます。おもいやり駐輪場を含めて127台分を確保、くわえて、駐輪場は50台分配置しても駐車場100台が確保できるスペースを計画しました。

住吉神社の杜が近く敷地全体に植栽を考えます。周回道路の南と北には桜を、西には八ヶ岳おろし(西からの強風)の防風木としてポプラを配置することを提案します。

敷地の段差を利用して、「八ヶ岳ステップス」と名付けた校舎から校庭に降りる階段を設置し、運動会や地域スポーツクラブの試合などの観覧席として利用できます。